

令和6年度（2024年度） 市民と議会の懇談会

総務民教委員会委員長、及び経済厚生委員会委員長の所感

市民と議会の懇談会でのグループワーク（テーマ「公共施設について」と「地域公共交通について」）後に行った、各グループからの発表を受けての、総務民教委員会委員長及び経済厚生委員会委員長からの所感

■総務民教委員会 委員長 平松 謙治

今回、総務民教委員会では、「公共施設について」というテーマでグループワークをさせていただいた。

グループワークの中では、市役所庁舎と小中学校についてを中心に話し合いをしてもらったが、幅広く話をしてもらって、都市計画のことや土地利用のことまで、様々な意見をいただくことができた。

今回、この懇談会を開催するにあたって、議会としてこの課題についてどう考えているのかという話を聞けるのではないかと考えていらっしゃった方もおられた。そういった点で、資料が中途半端であったと感じている。例えば、市の人口推移や、予算の状況についてなどもありながら、テーマを絞り込んだ懇談会の開催も検討してもよいかと感じた。

今回、たくさんの参加者に来ていただいたことは、大変喜ぶところである。

今回は、広く皆さんの意見を聴くことを主として、この懇談会を開催したが、今後、この懇談会のあり方として、議会としての考えを伝えることも含めた懇談会があってもよいと感じたところ。

皆さんからいただいた意見を、しっかり議会の運営に反映させていきたい。

■経済厚生委員会 委員長 吉井 巧

経済厚生委員会では、「地域公共交通」をテーマとして、多くの皆様にご参加いただいた。

7月の新聞紙面での、今年度3月で「はまる一歩バス」が廃止になるといった報道があったことも影響していると感じているが、本当に多くの皆様が、このことに関心をもっておられるのだなと思った。

また、今日この会場にも「はまる一歩バス」を使って来られたという方も、多くいらっしゃる。「はまる一歩バス」の利用者の方には本当にびっくりするような内容だったのではと感じている。

この先運行される AI デマンド交通がどういうものか、まだまだ中々周知もできていない。3月での「はまる一歩バス」廃止の経緯についても、市民の皆様がご理解できておらず、その点も周知ができていないと、改めて感じた。

経済厚生委員会で、この説明を受けたときに、議員から執行部に対して、同じような質問をしているが、私たちも市民の皆様へ説明不足であるというのもあるし、市のほうの説明もまだまだ足りてないと、深く反省するところである。

特に AI デマンド交通は、これから始まるものである。今日皆さんからの意見に出たように、予約が容易にできる方もいれば、そうでない方も想定される。今の「はまる一歩バス」であれば停留所で待つ

ていれば、予約しなくても、決まった時間にバスが来ていた。それを前提条件に使われていた方からすれば、スマートフォンを使ったり電話をしたりという手間が増えるということが、皆様の負担につながるということが、改めて感じたところである。

停留所についても、今ある停留所よりも数は増えるが、どこに増やすのかということにも、皆様の声をしっかりと聞く必要がある。

今回の件に関しては、先ずは市民の皆様の便利になるための改革であるので、こういった会をもっともってしていく。

市のほうもしっかりとそういった形で試験運行しながら、市民の皆様の意見を伺うということは聞いている。市民の皆様の意見を聴くことについても、1月～3月の試験運行で終わるわけではなく、4月以降もずっと、市民の皆様の声を聞きながら、よりよいデマンド交通のあり方というものを、市のほうも考えている。

そういったことをしっかりと、我々議会としても、委員会の中でしっかりと揉んで、市の担当部署としてしっかり話をしながら、このデマンド交通が上手く皆様の便利につながるように、しっかりと政策提言していきたい。

【参 考】

令和6年度 市民と議会の懇談会

主 催：境港市議会

開催日：令和6年8月25日（日）

時 間：13:00～15:30

場 所：みなとテラス（市民交流センター）